

がんばれ！佐世保西高56回生

校長 城 美博

1月20日(木)は、二十四節気のひとつ「大寒」でした。寒の入り(小寒の日)から立春の前日(節分)までを「寒中」と呼び、文字通り一年で最も寒い時期に当たります。例年この時期が大学入試と重なっており、受験生は様々な不安はもちろん、厳しい寒さとも戦うことになるのですが、導入2年目の大学入学共通テストが、去る1月15日(土)、16日(日)の両日に実施されました。

1月14日(金)に行われた激励集会の中で、私は、①「心と身体の安定」②「最善の努力」③「現実の受容」を念頭に置いて本番に臨むよう、3年生に伝えました。①は健康を保ち精神的に落ち着いていること、これは基本です。②は本番に臨んで決して諦めないことで、精神的な落ち着きも求められます。③は自己採点で出てきた結果が辛いものであっても、現実として受け入れて、前を向いて次のステップへ進むということです。

さて、実際に共通テストを終えて自己採点を済ませてみれば、これまでにない低い平均点であることが分かってきました。全国の情勢が明らかになるまでは、さぞかし落胆、不安、動揺、諦めなど、ネガティブな感情に苛まれたことだと思います。全国津々浦々の受験生の多くが等しく抱いた感情であったことでしょう。しかし、「多くの受験生が思ったよりも低い点数である」というときに、いったいどういうことが起きるのでしょうか。

まず考えられるのは、現実と向き合うことを早々に切り上げて、次へとリセットするという人が出てくるでしょう。具体的に言うと、共通テストの結果をあっさりで見限り、私大受験へとシフトするということです。次には、国公立前期までは受験するけれど、それに失敗したら後期はもう受験しない、という人も出てくるでしょう。

例を見ないオミクロン株によるコロナ感染の第6波、東京大学前で起きた高校2年生による刺傷事件、トンガで起きた海底火山噴火の影響による長崎県への津波注意報の発令という騒然とした中での大学入学共通テストでした。めったに起きないことが立て続けに起きた2日間でしたが、ここから導き出されるのは「何が起きるかわからない」ということであり、受験について言えば「何事かを起こそう」という意志こそが大切になるのです。

もちろん、大学入試の成否が人生の最重要課題というわけではありません。しかし、厳しい現実から目を背けず立ち向かった経験は、人生の中で決して小さなものではないはずで、これから長く続く人生の中で何度か訪れる「正念場」を、今初めて経験している3年生に、私は心から声援を送りたい。

声を大にして言おう。 **がんばれ！佐世保西高56回生**

大学入学共通テスト (3学年主任：戸塚 邦彦)

56回生227名が、1月15日(土)16日(日)に長崎県立大学佐世保校で、大学入試の第一関門である大学入学共通テストを受験しました。感染拡大防止のため会場に入場制限がかかる中、生徒たちは、会場の外で「西高魂」の幟を持って駆けつけてくださった先生方の応援を受けながら会場入りしました。大学構内では、参考書で最後まで余念なく確認をしたり、リラックスするために談笑したりする姿が見られ、最後は担任の先生方に見送られて、受験会場の各教室へ移動しました。

これから進路実現に向けた戦いもいよいよ佳境を迎えます。最後まで粘り強く頑張っていきましょう。



右上：直前まで質問をする、さすが諦めない心
左上：後輩たちから3年生全クラスに贈られた応援メッセージ
左下：いよいよ受験会場となる教室へ向かう生徒たち

2 月 行 事 予 定	1	(火)	後期期末考査時間割発表、生徒午前日課、部活動禁止(～2/14)
	2	(水)	高校入試前期選抜(生徒は3日まで自宅学習)
	5	(土)	進研マーク(2年、～6日)、特別講座(3年)
	8	(火)	県知事選期日前投票(本校会場、16:00～18:00)
	9	(水)	後期期末考査(1・2年、～2/15)、高校入試前期合格者発表(16:00～17:00)
	11	(金)	建国記念の日、特別講座(3年)
	17	(木)	SDGs探究講演会(1年、長崎県立大学来校)、高校入試後期選抜願書受付(～2/24)
	19	(土)	特別講座(3年)
	20	(日)	英検二次
	23	(水)	天皇誕生日、特別講座(3年)
25	(金)	卒業式式場設営・礼法指導(午後、1・2年)、国公立大学前期試験(3年)	
28	(月)	卒業式式場設営・大掃除 同窓会入会式 卒業式予行	

百人一首大会に向けて

(1学年主任：峯悦子)

1学年の百人一首大会は、令和4年1月20日(木)に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大、蔓延防止措置の発令により、2月24日(木)に延期しております。この大会は、毎年1学年で実施している行事ですが、今年度は生徒代表の「百人一首大会実行委員」を中心に企画・運営を進めています。代表を1年4組の田中悠太君が務め、実施要項の作成から全て生徒で行っています。企画・運営をすることは、主体性や協働性を身につけるのみならず、多くの視点を持って行動することで、視野の広がりや他者を想う気持ちも育っていくと思います。1年生の皆さんは、実行委員が考えてくれた企画をしっかりと楽しむように協力をお願いします。

デートDV講話

1月13日、2年生を対象にデートDV予防教室が行われました。NPO法人「DV防止ながさき」より大川内紀美子様をお招きし「対等な関係をつくるために」というテーマでお話いただきました。

デートDVとは何か、アイメッセージ・ユーメッセージの違い、DVが身近に起こりうるという現実等が紹介されました。また保健委員・生徒会役員によるロールプレイングでは会場の緊張感も和み、身近な実践を学ぶよい機会となりました。

生徒の感想(抜粋) ・今日の講話は、中学校で受けたものよりも内容が詳しく勉強になりました。この年になると、性に関する知識が増え、不安に思っていた部分もあったので、相手との付き合い方を知れてよかったです。相手の気持ちを尊重して、そのうえで自分の気持ちも伝えることができるようになりたいです。相手と対等な関係を築けるよう努めたいです。

部活動の結果報告

<吹奏楽部>

○第48回長崎県アンサンブルコンテスト サキソフーン四重奏 銀賞

2年：木戸優芽、上地音々 1年：吉田陽香、岩崎晶子

国内研修旅行報告

(2学年主任：萩原 広太)

12月7日～10日の4日間の日程で中国地方(主に山陰地方)を中心とした国内研修旅行を実施しました。当初は、例年通りのベトナム研修旅行の予定でしたが、コロナウィルス感染拡大を受けて行先や内容が大きく変更されました。国内の感染状況、教育効果、施設の受け入れなど、様々な観点から研修地を決定したものの、感染拡大は収まらず直前までその実施が危ぶまれましたが、生徒諸君の熱い気持ち、保護者の皆様のご理解、業者や関係機関の協力を得て実施することができました。まずは、研修旅行を実施できたこと、生徒の徹底した感染予防によってそれぞれがよい思い出を作って元気に帰ってこられたことを喜びたいと思います。

1日目…バス、新幹線を使い岡山県の鷺羽山ハイランドに行きました。絶叫マシンや瀬戸大橋の眺めに興奮を隠せない様子でした。TV撮影も行われており、芸能人に初めて会った生徒もいたようで、貴重な体験となったようです。

2日目…島根県松江市内で班別自主研修を実施しました。松江城を中心に、佐世保とは違った文化に触れることができ、学び多い一日となったようです。また、出雲そばやご当地グルメを堪能する生徒が多かったようです。

3日目…鳥取砂丘に行き、環境プログラムを体験してきました。苦労して上った砂丘の上からは広大な日本海が広がっていました。裸足になって海辺で楽しむ生徒もいました。また、足立美術館では、風流な庭園と美術作品に感動を感じる生徒もちらほら……。

4日目…研修旅行最後の訪問地、出雲大社。八百万の神々が集まると言われており、お守りを買う生徒も多かったように思います。そして、バスと新幹線を使い佐世保へ帰ってまいりました。

特異な状況の中での修学旅行ゆえに、ある意味学ぶことも多かったと思います。しっかりと周りを見て正しい判断や行動すること、目に見えるところ見えないところで自分たちを支えてくれる人々の存在に気づき感謝すること……。研修旅行中にできたことを、これからもずっと続けてもらいたいものです。

～生徒の感想より～

□研修旅行に行けるか不安でほとんど諦めかけていたけど行くことができて本当に良かった。

□鳥取砂丘に行っても正直つまらないだろうな、と思っていたけど、クラスの皆で走り回って、とても楽しかった。また、日本海に圧倒された。もう一度行きたい。一番の思い出の場所となった。

□鳥取砂丘でラクダに乗った。貴重な体験となった。

□クラスの人と、初めて宿泊することになり、少し不安はあったが、普段話することが少ない人とも話することができ、仲が深まった。また、違う一面も見られてよかった。

□人生で初めてバンジージャンプをした。少し怖かったけど、人生で1回きりのチャンスだったかもしれないので、貴重な体験をすることができたと思う。

□芸能人に初めて会った。興奮した。

□班別自主研修のときに、クラスの女子全員で行動しました。楽しかったです。最高です。

